

# ほほえみ返し


変額個人年金保険(07)有期D2型

特別勘定（世界分散型30AF）

## 月次運用実績レポート

### 2014年2月

**お知らせ** 平成26年4月1日から、消費税率が5%から8%に引き上げられることから、資産運用関係の費用を変更させていただきます。7ページの「運用関係費」をご確認ください。

設定・運用は  
**DIAMアセットマネジメント** 

**【利用する投資信託の委託会社】 DIAMアセットマネジメント株式会社**

1999年に第一ライフ投信投資顧問、興銀NWアセットマネジメント、日本興業投信の3社が合併して発足しました。競争力のある運用ノウハウ・人材を結集し、高品質な商品およびサービスをご提供しています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)有期D2型」は、特別勘定(ファンド)で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用対象として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。

# 変額個人年金保険(07)有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート(2014年2月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。  
・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。  
・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 運用環境 [2014年2月]

### 【国内株式市場】

国内株式市場は小幅に下落しました。  
米国の経済指標の悪化などを背景に国内株式市場は大きく下落して始まり、日経平均株価は5日に一時2013年10月以来となる13,000円台をつけましたが、その後は米国株式市場の上昇や割安感を背景に反発に転じました。月後半には、2013年10-12月期GDP(国内総生産)が市場予想を下回ったものの、日銀が貸出支援策の拡充や延長を決定したこと、外国株式市場の堅調な推移を背景に国内株式市場も堅調に推移しました。月末にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、外国株式市場と同様に上値の重い展開となりました。

### 【外国株式市場】

外国株式市場は上昇しました。  
月初には、米国でISM製造業景況指数が予想を大きく下回る内容となったことが世界的に悪材料視され、欧米ともに株式市場は下落して始まりました。しかしその後は、冴えない経済指標が発表されたにもかかわらず悪天候による一時的な要因との見方から株式市場は底堅い推移となり、イエレンFRB(米連邦準備理事会)議長が議会証言で当面の間の金融緩和政策の継続を示唆したことや、欧州の2013年10-12月期GDPが予想を上回ったことなどから株式市場は欧米ともに上昇基調で推移しました。月末にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に上値の重い展開となりました。

### 【国内債券市場】

国内債券市場では、国債利回りは低下する展開となりました。  
米国の経済指標が軟調な内容だったことや、日銀の国債買い入れによる良好な需給環境、ウクライナ情勢の緊迫化等を背景に、国債利回りは緩やかに低下する展開となりました。

### 【外国債券市場】

米国の国債利回りは月を通して見ると概ね横ばいとなった一方、欧州主要国の国債利回りは低下(価格は上昇)しました。  
米国では月初にISM製造業景況指数が予想を大きく下回る内容となったことや株式市場の下落を背景に国債利回りは低下し、2013年11月以来の2.6%を割り込む水準となりました。その後は、株式市場の反発や債務上限を引き上げる法案の可決等を背景に国債利回りは上昇したものの、月末にかけてはウクライナ情勢の緊迫化を背景に利回りは低下基調となりました。欧州では、ECB(欧州中央銀行)高官の利下げ示唆や、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に主要国の国債利回りは低位で推移しました。

### 【外国為替市場】

ドル/円相場は、米国で月初にISM製造業景況指数が予想を大きく下回る内容となったことから、一時2013年11月以来の1ドル=100円台まで円高ドル安が進行しました。その後は、米国での債務上限を引き上げる法案の可決等を背景にやや円安に振れる場面も見られたものの、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に円高ドル安傾向で推移しました。欧州では、2013年10-12月期GDPが予想を上回る等、引き続き景況感改善への期待が維持される中、ユーロが主要通貨に対して堅調に推移し、ユーロ/円相場についても円安ユーロ高の推移となりました。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクがあります)に投資をしますので、市場環境、組入る有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成してありますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料に記載されている運用実績は税引前配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資信託は1.預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2.購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【取扱者(生命保険募集人)】  
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/>

# 変額個人年金保険(07)有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート(2014年2月)

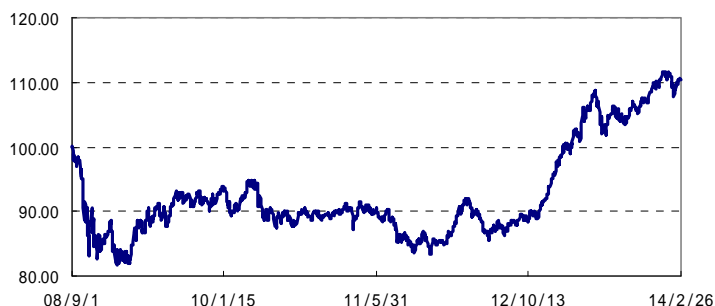
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。  
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。  
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。  
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

## 特別勘定の運用状況 [2014年2月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型30AF	当ファンドは、日本および世界の株式、債券などへ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。 基本資産配分比率は下記の通りとなります。当ファンドにおいて、外国債券の資産配分比率である40%のうち、原則として15%相当部分を為替ヘッジします。 国内株式：10% 外国株式：20% 国内債券：30% 外国債券(為替ヘッジなし)：25% 外国債券(為替ヘッジあり)：15% リバランスは、1ヵ月毎(月末時点)に基本資産配分比率に戻すことを原則とします。 当ファンドの主なリスクとして、資産配分リスク、価格変動リスク、為替リスク、信用リスク、金利変動リスク、流動性リスクなどがあります。
利用する投資信託	
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA (適格機関投資家限定)	

### 特別勘定のユニット・プライスの推移

特別勘定のユニット・プライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニット・プライス		騰落率	
2014年2月末	110.44	過去1ヶ月	0.76%
2014年1月末	109.61	過去3ヶ月	0.37%
2013年12月末	111.55	過去6ヶ月	6.45%
2013年11月末	110.03	過去1年	10.76%
2013年10月末	107.64	過去3年	22.48%
2013年9月末	105.86	設定来	10.44%

・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2008年9月1日)を100.00として計算しております。

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。  
 ・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

### 特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型30AF	
	金額(千円)	比率
その他有価証券	12,927,291	97.8%
現預金・その他	291,162	2.2%
合計	13,218,454	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。  
 ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【取扱者(生命保険募集人)】  
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/>

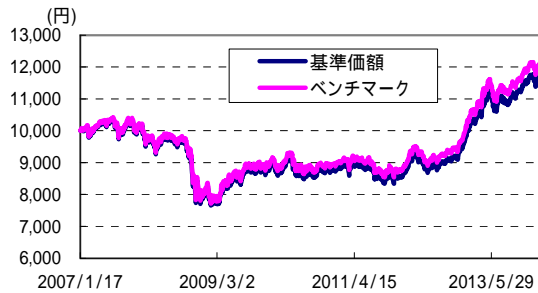
# 変額個人年金保険(07)有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート(2014年2月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。  
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。  
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。  
 ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA (適格機関投資家限定)の運用状況 [2014年2月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

### 基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額と異なる場合があります。  
 基準価額およびベンチマークは設定日(2007年1月18日)の前日を10,000として表示しております。  
 基準価額は信託報酬(年率0.315% (税抜0.3%))控除後です。

### 分配金情報(税引前)

分配金情報(税引前)	分配金	分配金は1万円当たり
第5期(2011.06.22)	分配金	0円
第6期(2012.06.22)	分配金	0円
第7期(2013.06.24)	分配金	0円
設定来累計分配金		0円

直近3年分  
 分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

### 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	11,688円
純資産総額	26,930百万円
設定日	2007年1月18日
決算日	原則 6月22日
信託期間	無期限

### ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本資産配分比率	差
国内株式	9.8%	10.0%	-0.2%
国内債券	29.8%	30.0%	-0.2%
外国株式	19.9%	20.0%	-0.1%
外国債券	39.3%	40.0%	-0.7%
現金等	1.2%	0.0%	1.2%
合計	100.0%	100.0%	-

計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。  
 株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。  
 外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。

### 騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
当ファンド	0.96%	0.95%	7.79%	13.52%	31.58%	48.57%	16.88%
ベンチマーク	0.94%	1.03%	8.01%	13.99%	33.10%	51.61%	20.68%
差	0.02%	-0.08%	-0.21%	-0.47%	-1.52%	-3.04%	-3.80%

騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りと異なる場合があります。

### ファンドの特色

**主な投資対象** …… 主として国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ投資します。  
**投資方針** …… マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。  
**ベンチマーク** …… 以下の各資産のベンチマークを基本資産配分比率で組入れた合成指数とします。

### 各資産のベンチマーク

【国内株式】 東証株価指数(TOPIX、配当込み)  
 【国内債券】 NOMURA - BPI総合  
 【外国株式】 MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)  
 【外国債券(為替ヘッジなし)】 シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)  
 【外国債券(為替ヘッジあり)】 シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)

2014年4月1日以降 年率0.324%

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものと基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく(変更される場合があります。投資信託は1.預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2.購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【取扱者(生命保険募集人)】  
 株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】  
 アクサ生命保険株式会社  
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
 TEL 0120-933-399  
 アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/



# 変額個人年金保険(07)有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート(2014年2月)

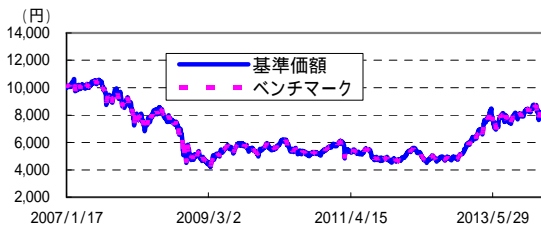
当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。  
 その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。  
 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。  
 当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 各マザーファンドの運用状況 [2014年2月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

### 国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド

比率は組入株式評価額に対する割合です。



基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX、配当込み)です。

### 騰落率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	設定来
当ファンド	-0.69%	-3.63%	10.46%	26.55%	36.06%	77.48%	-18.61%
ベンチマーク	-0.71%	-3.58%	10.47%	26.60%	36.16%	77.78%	-18.56%
差	0.01%	-0.06%	-0.00%	-0.05%	-0.10%	-0.30%	-0.06%

純資産総額 319,737 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株東京証券取引所)が有しています。なお、本商品は、(株東京証券取引所)により提供、保証又は販売されるものではなく、(株東京証券取引所)は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1758銘柄)

No	銘柄	業種	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.72
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	2.55
3	ソフトバンク	情報・通信業	2.16
4	三井住友フィナンシャルG	銀行業	1.97
5	本田技研	輸送用機器	1.91
6	みずほフィナンシャルG	銀行業	1.55
7	日本電信電話	情報・通信業	1.28
8	日本たばこ産業	食料品	1.17
9	ファナック	電気機器	1.14
10	日立	電気機器	1.12

株式には新株予約権証券を含む場合があります。

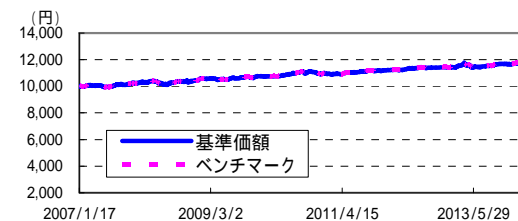
### 組入上位10業種

(単位:%)

	業種名	当ファンド	ベンチマーク	差
1	電気機器	12.68	12.68	-0.00
2	輸送用機器	11.73	11.73	0.00
3	銀行業	9.37	9.37	0.00
4	情報・通信業	7.37	7.37	0.00
5	化学	5.39	5.39	0.00
6	機械	5.26	5.26	-0.00
7	医薬品	4.70	4.70	0.00
8	卸売業	4.68	4.68	0.00
9	小売業	4.07	4.07	-0.00
10	食料品	3.88	3.89	-0.00

### 国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

比率は組入債券評価額に対する割合です。



基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

### 騰落率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	設定来
当ファンド	0.23%	0.49%	1.69%	1.88%	7.41%	11.00%	17.42%
ベンチマーク	0.24%	0.50%	1.71%	1.91%	7.63%	11.46%	17.78%
差	-0.00%	-0.01%	-0.01%	-0.03%	-0.23%	-0.46%	-0.36%

純資産総額 443,912 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。NOMURA-BPI総合は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 543銘柄)

No	銘柄	比率(%)
1	3 3 2 回 利付国庫債券(10年)	1.25
2	1 1 6 回 利付国庫債券(5年)	1.25
3	3 2 9 回 利付国庫債券(10年)	1.16
4	9 7 回 利付国庫債券(5年)	1.14
5	3 2 8 回 利付国庫債券(10年)	1.14
6	1 0 6 回 利付国庫債券(5年)	1.14
7	3 2 5 回 利付国庫債券(10年)	1.10
8	3 3 0 回 利付国庫債券(10年)	1.09
9	1 0 3 回 利付国庫債券(5年)	1.03
10	1 0 5 回 利付国庫債券(5年)	1.02

### セクター別比率

	組入比率	ベンチマーク	差
国債	80.45%	78.76%	1.69%
地方債	6.52%	7.02%	-0.50%
金融債	0.98%	1.00%	-0.02%
政保債	3.86%	3.85%	0.01%
社債	7.53%	7.25%	0.28%
円建外債	0.14%	0.64%	-0.50%
MBS	0.51%	1.33%	-0.81%
ABS	0.00%	0.14%	-0.14%
合計	100.00%	100.00%	-

### ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利回り	0.53%	0.53%	-0.00%
平均クーポン	1.33%	1.30%	0.03%
平均残存期間	8.85	8.36	0.49
修正デュレーション	7.75	7.54	0.21

ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。「複利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する勧誘を目的とするものではありません。投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産は為替リスクもあり)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料に記載されている運用実績は税引前配当金を再投資したものとす標準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【取扱者(生命保険募集人)】  
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命保険株式会社 http://www.axa.co.jp/

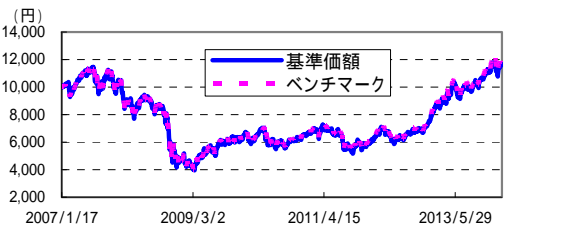
# 変額個人年金保険(07)有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート(2014年2月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 各マザーファンドの運用状況 [2014年2月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

### 外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド



基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)です。

比率は組入株式評価額に対する割合です。

### 騰落率

当ファンド	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	設定来
当ファンド	3.45%	3.01%	18.65%	34.92%	70.88%	167.03%	16.03%
ベンチマーク	3.45%	3.04%	18.72%	35.38%	72.25%	170.94%	18.89%
差	0.01%	-0.03%	-0.07%	-0.46%	-1.38%	-3.91%	-2.86%

純資産総額 310,972 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数:1271銘柄)

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	1.63
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.43
3	GOOGLE INC	アメリカ	インターネットソフトウェア・サービス	1.13
4	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	1.02
5	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	コングロマリット	0.88
6	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品	0.87
7	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品	0.82
8	WELLS FARGO & CO	アメリカ	商業銀行	0.79
9	CHEVRON CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	0.76
10	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	スイス	医薬品	0.73

株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。

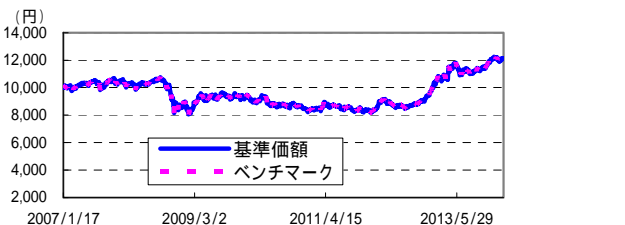
### 組入上位10カ国

No	国名	比率
1	アメリカ	56.93%
2	イギリス	9.40%
3	スイス	4.56%
4	カナダ	4.43%
5	フランス	4.36%
6	ドイツ	4.21%
7	オーストラリア	3.40%
8	オランダ	1.70%
9	スペイン	1.53%
10	スウェーデン	1.45%

### 組入上位10業種

No	業種名	比率
1	エネルギー	10.05%
2	銀行	9.79%
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.47%
4	資本財	7.71%
5	ソフトウェア・サービス	6.99%
6	食品・飲料・タバコ	6.04%
7	素材	5.75%
8	保険	4.22%
9	各種金融	4.04%
10	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.89%

### 外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド



基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。

比率は組入債券評価額に対する割合です。

### 騰落率

当ファンド	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	設定来
当ファンド	0.65%	1.47%	9.19%	14.87%	44.21%	36.59%	21.16%
ベンチマーク	0.51%	1.41%	9.15%	15.01%	43.98%	36.20%	21.23%
差	0.14%	0.06%	0.03%	-0.14%	0.24%	0.39%	-0.07%

純資産総額 384,331 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。シティグループ世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。

### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数:492銘柄)

No	銘柄	通貨	組入比率(%)	残存年数
1	US T N/B 0.625 07/15/16	米ドル	1.04	2.375
2	US T N/B 2.5 03/31/15	米ドル	0.84	1.086
3	US T N/B 1.25 08/31/15	米ドル	0.83	1.503
4	US T N/B 3.25 06/30/16	米ドル	0.72	2.333
5	US T N/B 2.375 02/28/15	米ドル	0.64	1.000
6	US T N/B 1.25 09/30/15	米ドル	0.64	1.583
7	FRANCE OAT 3.25 04/25/16	ユーロ	0.62	2.153
8	FRANCE OAT 3.0 10/25/15	ユーロ	0.61	1.653
9	US T N/B 3.25 12/31/16	米ドル	0.58	2.836
10	ITALY BTPS 3.75 08/01/15	ユーロ	0.58	1.419

### 通貨別比率

通貨	比率
ユーロ	44.47%
米ドル	38.85%
英ポンド	7.95%
カナダドル	2.34%
オーストラリアドル	1.52%
メキシコペソ	0.99%
ポーランドズロチ	0.86%
デンマーククローネ	0.81%
スウェーデンクローネ	0.56%
マレーシアリンギット	0.51%
南アフリカランド	0.46%
シンガポールドル	0.35%
ノルウェークローネ	0.34%
合計	100.00%

### ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利利回り	1.65%	1.72%	-0.07%
平均クーポン	3.49%	3.06%	0.43%
平均残存期間	7.79	7.81	-0.02
修正デュレーション	5.90	6.08	-0.18

ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価にもとづきのものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料に記載されている運用実績は税引前配金を再投資したものとす基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【取扱者(生命保険募集人)】  
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/>

## 変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について

### 【投資リスクについて】

- この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定(ファンド)資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定(ファンド)資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っているため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
- 特別勘定(ファンド)資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- 運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- 特別勘定(ファンド)における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

### 【ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は下記のとおりです】

この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。  
一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

### 【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して <b>5.0%</b>
		特別勘定(ファンド)に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

### 【据置期間中および特別勘定年金受取期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して <b>年率2.3%</b>
		積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定(ファンド)の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定(ファンド)の運用に必要な費用	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.315%程度(～3/31)</b> <b>年率0.324%程度(4/1～)</b> ( <b>税抜き:年率0.3%</b> )*
		特別勘定(ファンド)にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

\* 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。  
信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定(ファンド)がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

### 【一般勘定で運用する年金の受取期間中】

一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して <b>1.0%*</b>
		年金受取日に責任準備金から控除します。

\* 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

**変額個人年金保険(07)有期D2型「ほほえみ返し」は現在販売していません。**

【取扱者(生命保険募集人)】  
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命「AXA」 <http://www.axa.co.jp/>